

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 132	小学校	算数	算数	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 316・317	みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上・下		

1 編集の基本方針

わたしたちを取り巻く社会は、日々変化しています。子どもたちが、この先の変化の中でよりよい人生を歩み、よりよい社会を作りあげていく力を身につけていけるよう願っております。

その中で、算数という教科を通し、数学的・論理的な視点や思考を育みながら、さまざまな物事に対して多様に対応していき、他者とも協働的に取り組んでいけるようになってほしいと考えております。

この教科書では、そのような子どもたちを育てるために、教育基本法の理念に則り、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、以下のことに配慮しながら編集しました。

特色

1

みつける

身のまわりや、算数の学習の中から、問題を自らの力で「みつける」ところから、学びがはじまります。学びのはじまりは、生活の中や算数の学びの中など、至るところに潜んでおり、それらを見つめながら学習を進めることができるようにすることで、真理を求める態度を養い、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮しました。

特色

2

つながる

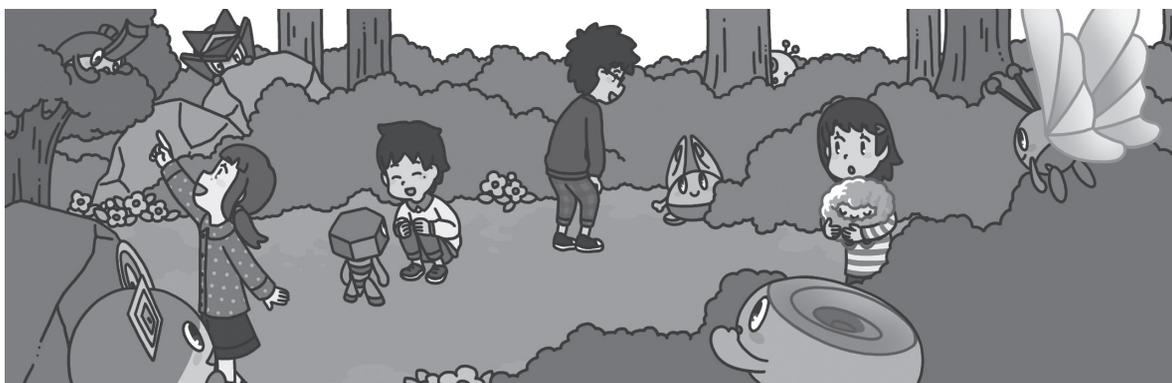
算数だけでなく、学びにはさまざまな「つながり」が大切になってきます。学びの中のつながりはもちろんのこと、人とのつながりに関して話し合いや他者の意見を取り入れて、さらに自らの考えを発展させるなど、自他の協力を重んじながら、自らの能力を伸ばすことができるよう配慮しました。

特色

3

ひろがる

算数の世界は、子どもたちの身のまわりの至るところに潜んでいます。社会の中の算数、自然の中の算数、日本の中、世界の中へと、自分たちが身につけた知識がひろがっていくことを実感できるような題材を取り扱うことで、算数の世界がひろがっていく様子を子どもたちが実感できるよう配慮しました。



2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全単元	<ul style="list-style-type: none"> 教材の選択にあたっては、児童の生活に根ざし、豊かな情操と道徳心が養われるように配慮しました。(第一号) 男女平等の精神にのっとり、教科書に掲載する男女児童の名前はすべて「さん」付けとしました。(第三号) 4人の成長するキャラクターを設定し、協力して課題を解決していく様子を示すことにより、自他を敬愛し協力を重んずる態度の育成に配慮しました。(第三号) 	全般
①かけ算	<ul style="list-style-type: none"> かけ算のきまりを見つける活動を、多様な考えを比較し、認め合う活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第三号) 	上 p.14～17
②時くと時間	<ul style="list-style-type: none"> 校外学習での時間や時刻を読み取ったり計算したりすることを題材として、生活していく上で自ら計画を立てる自主及び自律の精神の育成に配慮しました。(第二号) 	上 p.26～30
③わり算	<ul style="list-style-type: none"> 等分する場面を導入とし、平等に分ける必要性を明示することにより、道徳心を培うことができるように配慮しました。(第一号) 	上 p.36
④たし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> 買い物の場面で、学んだことを生かしながら、支払う金額や残金を考察することで、生活との関連を重視する態度を培うことができるように配慮しました。(第二号) 	上 p.56, 62
⑤表とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の交通量を調べる課題を通して、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるように配慮しました。(第三号) 	上 p.76～80
⑥長さ	<ul style="list-style-type: none"> 路面電車を扱う活動を通して、身近な交通機関に目を向けることができるように配慮しました。(第二、五号) 	上 p.96
○算数をつかって	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の起きた時間帯や起きた場所、原因に関する課題を扱うことで、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにしました。(第四号) 	上 p.100～101
⑦円と球	<ul style="list-style-type: none"> マンホールの蓋が丸い理由を考察する課題を通して、算数と生活との関連を重視する態度を養うことができるように配慮しました。(第二号) 	上 p.114
⑧あまりのあるわり算	<ul style="list-style-type: none"> 八百屋で手伝いをする場面を示し、勤労を重んずる態度の育成に配慮しました。(第二号) 	上 p.118
⑨(2けた)×(1けた)の計算	<ul style="list-style-type: none"> 新たな学習をするにあたり、他者の考えを認め、自分の考えと比較することにより、自他の協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第三号) 	下 p.3～4
⑩1けたをかけるかけ算	<ul style="list-style-type: none"> 桁数が増えても、これまでの学習で培ってきた知識を役立てられないか考える様子を示すことで、真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第一号) 	下 p.8
⑪大きい数	<ul style="list-style-type: none"> サッカー観戦を題材とすることで、健やかな身体を養うことを意識できるように配慮しました。(第一号) 	下 p.20～21
⑫小数	<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりのさまざまな容器のかさを調べる活動を通して小数を学ぶ展開にすることで、生活の中にある数であることを意識できるように配慮しました。(第二号) 	下 p.38～44
⑬三角形と角	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形と正三角形の性質が似ていることから、包含関係に目を向けるような展開にすることによって、真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第一号) 	下 p.66
○算数をつかって	<ul style="list-style-type: none"> 生物のレッドリストに関する課題に取り組むことで、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第四号) 	下 p.70～71

⑭ 2けたをかけるかけ算	・他者の考えを考察し、どちらがよりよい方法であるか説明する活動を通して、自他の協力を重んずるとともに、そこから真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第一,三号)	下 p.79
⑮ 分数	・分数ものさしや分数ますを作る活動を通して、創造性を培うことができるように配慮しました。(第二号)	下 p.91
⑯ 重さ	・身のまわりにある重さに関心を持つことができるような場面設定を提示することによって、真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第一号)	下 p.102～103
⑰ □を使った式	・問題から式に表す場面を生活の中にある題材に設定することで、生活との関連を重視する態度を養うことができるように配慮しました。(第二号)	下 p.120～125
⑱ しりょうの活用	・給食のメニューに関する資料を活用することを通して、健やかな身体を養うことを意識できるように配慮しました。(第一号)	下 p.130～133
⑲ そろばん	・計算の道具であるそろばんについて知ること、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるように配慮しました。(第五号)	下 p.134～135
○算数をつかって	・1人が1日に出すゴミの量やゴミの分別に関する資料を活用した課題を通して、社会の形成に参画する態度を養うとともに、郷土を愛する態度を養うことができるように配慮しました。(第三,五号)	下 p.146～148

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○ユニバーサルデザインへの配慮

- ・全面的に UD フォントを使用することで、これまで以上に読みやすく、すべての児童が理解しやすい文字になるように配慮しました。
- ・すべての文章を分節改行にすることで、誰もが読み取りやすく、問題解決をすることや、それらを考察することに重点をおけるように配慮しました。
- ・カラーユニバーサルの観点を取り入れ、目に優しく判別のしやすい色使いをすることで、見やすく使いやすい紙面づくりに配慮しました。また、写真やグラフなどでは、色の名前を入れたり形を変えるなど、明確に区別できるように配慮しました。

○人権への配慮

- ・キャラクターや活動の場面などで、男女や特定のキャラクターに偏らないように配慮しました。
- ・いろいろな国の子どもたちを活動場面に入れることで、みなが平等に活動できるように配慮しました。

○ICT 活用への配慮

- ・タブレットなどの ICT 機器を利用した活動を行うことができる箇所には「QR コード」を付すことにより、デジタルコンテンツ等があることを視覚的に容易に判別できるように配慮しました。また、それぞれのデジタルコンテンツがどのような活動を行えるかわかりやすいよう、マークをそれぞれの活動に応じた形にすることで、使いやすさにも配慮しました。※ QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

○生活や日本の伝統文化への配慮

- ・児童の視野を、学年を追うごとに学校、地域社会、日本、世界へと広げていけるように配慮し、日本の文化、外国の文化を理解しようとする態度を養うことができました。また、それらの題材は、生活に深く関わる文化や環境といった内容を取り上げ、それらの基礎的な理解を養うことができるように配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 132	小学校	算数	算数	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 316・317	みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上・下		

1 編集上特に意を用いた点や特色

1 主体的・対話的に学びたくなる

問題解決をするとき、与えられた問題を解くのではなく、自分たちが解決したいと考えながら問題に取り組むことが、これからの生きる力に役立つ大切なことだと考えています。

そのために、単元全体の構成を、自分たちで問題や疑問を発見し、それを主体的・対話的に解決しながら学習を進めていくことができるようにしました。

単元導入は、「**？を発見**」のページを設け、日常生活や算数の中から、ふとしたときに感じる「？」に気づき、そこから本文の学習に主体的に取り組むことができるような構成としました。

各時間の「**めあて**」は、児童の素朴な疑問や本質に迫る疑問などが出るタイミングで、その場面に適した内容を提示することで、児童に寄り添った展開で授業が進められるようにしました。

「**まとめ**」は「めあて」に対応したものとなり、児童が気づいたことや見つけたきまりなどをまとめました。

各時間の終わりでは、次の学習につながる児童の「**つながりの？**」を吹き出して提示し、それが次時の学習などにつながることで、さらに主体的に学びたくなるとともに、学びの連続性を感じ取れるようにしました。

単元末では、「**できるようになったこと**」で、これまでに学んできた知識・技能を確認し、さらに「**まなびをいかそう**」では、それらの知識を生きた知識として活用できるような問題に取り組めるようにしました。

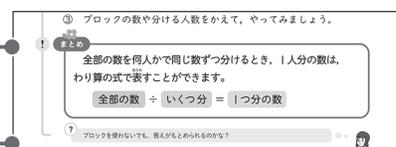
また、「**？を発見**」ではじまった単元の学習で、どのようなことを解決できたかを、単元の最後に「**？をかいけつ!**」としてまとめました。さらに、単元全体の学習を振り返ることによって生じた新たな問いを「**つなげたいな**」として提示し、児童が算数の世界を広げたいくなるようにしました。



→上 p.36



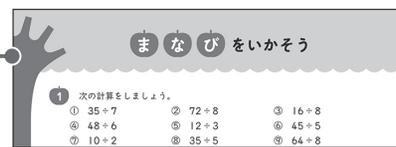
→上 p.37



→上 p.39



→上 p.51



→上 p.52



→上 p.53

2 基礎・基本を身につけ、算数を深めたいくなる

算数の学習に限らず、基礎的・基本的な知識を身につけておくことは、その後の問題解決に必ず役立つと考えています。また、苦手な内容を把握しておくことで、基礎・基本を自分たちの中でより確かなものとし、そこからさらに学習を深める態度を養うことができると考えています。

そのために、本文の問題以外の特設ページにおいても、個に応じた学習ができるようにしました。

特に児童が間違えやすい内容や苦手とする内容に関しては、「算数パトロール隊」のページを新設し、よくある間違い例を示すとともに、気をつけるべき注意点を示すことで、学びをふりかえりながら、どんなことに気をつければよいか分かるようにしました。



→下 p.101

巻末では「もっと算数」の中に「ほじゅう問題」のページを設け、基礎・基本の確実な習得ができるようにしました。



→上 p.128

特設ページとして、「ふりかえろう つなげよう」のページを設定し、これまでの学習をふりかえりながら統合的・発展的に学びを深め、次の学習へとつなげていけるようにしました。



→下 p.118

3 見方・考え方を使いたくなる

問題を解決するとき、どのような見方をすればよいか、どのような考え方をすればよいかということをも身につけることも大切だと考えています。さらにそれ以上に、身につけた見方・考え方を使えるようになることが、今後の学習や生活の中で大変役立つものになると考えています。

そのために、よく使われる代表的な見方・考え方を「考え方モンスター」としてキャラクター化して、児童が使いたくなるようにしました。

本文中の適切な箇所に、どのような考え方をしているかを具体的に例示しました。また、各単元末では、「考え方モンスターでふりかえろう！」のページを新設することで、どのような場面で見方・考え方をを使って問題解決してきたかをふりかえりながら、単元の主な学習内容もふりかえることができるようにしました。



→上 p.9

1つ分の数	いくつ分	全部の数	かえかえ
1ふくら	$6 \times 1 = 6$	14こあまる	いくつかにいろいろな数をあてはめているね。
2ふくら	$6 \times 2 = 12$	8こあまる	
3ふくら	$6 \times 3 = 18$	2こあまる	
4ふくら	$6 \times 4 = 24$	4こたりない	

→上 p.120

分数のたし算はどのようにすればよいのかな。

② 計算のしかたを考えよう。

$$\frac{1}{5} + \frac{2}{5} = \frac{1+2}{5} = \frac{3}{5}$$

1/5 L が 2/5 L が 3/5 L が

→下 p.96

考え方モンスターで「ふりかえろう！」

① 次の2人が調べたいことは、どんな表やグラフにまとめて見やすいですか。

② 次の2つのぼうグラフについて、気づいたことを話し合おう。

③ 次のグラフの1目もりは、同じ大きさだから、どちらも同じように表しているのかな。

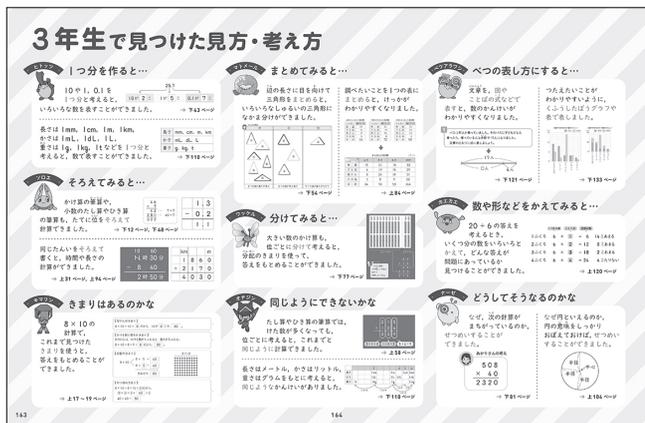
→上 p.87

上巻巻頭では、前学年でどんな「考え方monster」を見つけてきたかを領域ごとにまとめたページを設定しました。

下巻巻末では、その学年で見つけた「考え方monster」を、見方・考え方ごとにまとめるページを設定することで、異なる領域でも同じ見方・考え方を見つけてきたことがわかるようになりました。



→上 p.10-11

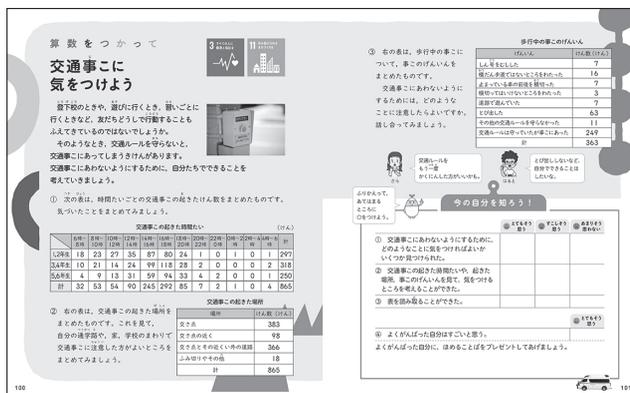


→下 p.163-164

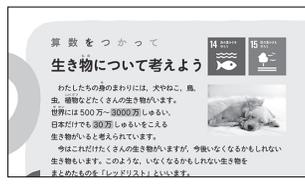
4 SDGs を考え、社会に目を向けたいくなる

算数で学習したことを算数の中で留めるのではなく、生活の中で活かすことができるようになることが大切だと考えています。特に、自分たちが学んできた算数が社会に役立つことを意識できるということは、学ぶ意欲にもつながるものだと考えています。

そのために、学期末に特設ページ「算数をつかって」のページを新設し、これまで学んできた算数の学習内容だけでなく、その問題解決の過程で見つけた見方・考え方、解決のしかたを活用して、SDGsをベースとしたさまざまな課題に取り組むことができるようにしました。



→上 p.100-101



→下 p.70



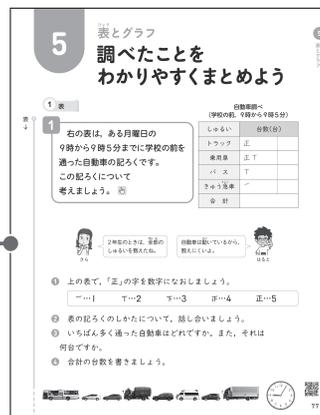
→下 p.146

5 統計を使った課題解決をしたくなる

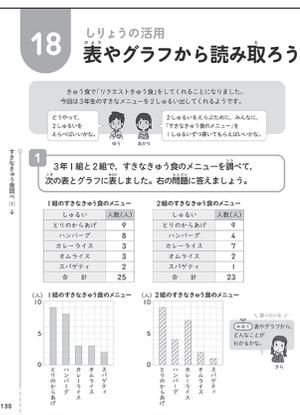
統計学習の充実には、これからの社会を生きていくために重要であり、表やグラフを学ぶだけでなく、何を、どのように、どう解決するかを考えていくことが大切だと考えています。

そのために、統計単元の学習は、「整理」と「活用」の2つの単元に分け、知識としての表やグラフを学ぶとともに、それをどう活用して問題解決に活かすかを学ぶことができますようにしました。

統計単元では、児童の話し合いから問題を見つけ、それを解決していく過程が見えるように、吹き出しや話し合いの場面を多く取り入れました。



→上 p.77



→下 p.130

観点別特色一覧

教育基本法の遵守	・教育基本法の趣旨を十分に反映した編集をしました。【全体】
学習指導要領の遵守	・学習指導要領に記載された内容をすべて網羅し、児童がより理解しやすいように配慮した編集をしました。【全体】
知識・技能の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動を通して学習を進めることで、知識・技能を教え込むのではなく、児童自らが率先して学びに取り組み、自然に知識を身につけ、さらに身についた学習内容を確認できるよう、練習問題を配置しました。【全体】 ・児童がつまずきやすい内容を扱う際は、段階的に理解できるようにすることで、すべての児童が無理なく知識・技能を身につけられるようにしました。【全体】 ・巻末に「もっと算数」のページを設け、補充的・発展的に課題に取り組むことができるようにしました。【上巻巻末、下巻巻末】
思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力を育むために、随所に多様な考え方を示しました。【上 p.14, 下 p.131 など】 ・言葉での説明、ブロックや図を使った説明などの活動を随所に取り入れることで、さまざまな表現力を育むことができるように配慮しました。【上 p.38, 下 p.121 など】
学びに向かう力の育成	・身のまわりの題材や、児童の興味・関心に応じた題材を扱うなど、積極的に算数の学習に取り組み、さらにそれを身のまわりの事象などに還元することができるように配慮しました。【上 p.26, 56, 76, 下 p.2, 72 など】
主体的・対話的で深い学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に算数の学びに取り組めるよう、導入や各題材において、身のまわりや算数の学習の中で疑問に思うことを取り上げ、それを解決したいという気持ちが生まれるようにしました。【各単元導入など】 ・他者の意見を考察する場面や話し合いの場面を多く扱い、イラストなどでも補助的に話し合い場面を挿入することで、意識的に対話的な学びが実現できるようにしました。【上 p.45, 84, 下 p.33 など】 ・巻末の「ふかめよう」や、特設ページとしての「ふりかえろう つなげよう」の学習において、これまで学んできたことを、統合的・発展的に深化できるようにしました。【上 p.74-75, 下 p.118-119 など】
見方・考え方の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの中から見方・考え方を見つけていけるように、代表的な見方・考え方を「考え方モンスター」として具現化し、適宜それを本文中に示すことによって、児童が自然に活用することができるように配慮しました。【全体】 ・上巻巻頭では、「2年生で見つけた見方・考え方」をまとめたページ、下巻巻末には、「3年生で見つけた見方・考え方」をまとめたページを設定し、さまざまなところで見つけ活用してきた見方・考え方が、どのような場面で扱われてきたかを振り返ることができるようにしました。【上巻巻頭、下巻巻末】
学びの接続・系統・連続性	・単元の学習では、次の学びにつながる吹き出しを挿入することで、今日の学びが明日の学びにつながっていく算数の系統性を意識できるように配慮しました。【単元全体】
組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・連続して扱うことで身につく学習内容と、スパイラルを意識することで身につく学習内容を選別し、より児童が学びやすいような単元配列になるようにしました。【全体】 ・本文と練習問題の分量のバランスや、無理のない時数配分に配慮し、児童が学習内容を確実に身につけることができるようにするとともに、つまずきやすい内容には十分に配慮した配列になるようにしました。【全体】
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「できるようになったこと」では、自己評価ができるようなチェック欄を設けるとともに、それが評価につながるよう配慮しました。【各単元末】 ・各学期末にパフォーマンス課題及びパフォーマンス評価の手法を取り入れ、個に応じた評価ができる場面を設けるとともに、自己評価もできるようにしました。【各学期末】
さまざまな教育課題への取り組み	・安全教育に取り組んだり、環境について考察したりする「算数をつかって」のページでは、交通事故に対する課題や、身近な生物の課題、さらにはゴミの分別に関する話題を題材として取り扱いました。【各学期末】
ICT への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、活動や思考の補助になるようなデジタルコンテンツを用意し、タブレット等で活用できるようにしました。【全体】 ・プログラミング的思考を身につけるため、学年末に「プログラミングのプ」を設定しました。【下 p.144-145】

ユニバーサルデザインへの 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・UD フォントを使用することで、これまで以上に読みやすく、すべての児童が理解しやすい文字になるように配慮しました。【全体】 ・すべての文章を分節改行にすることで、誰もが読み取りやすく、問題解決や思考に重点をおけるようにしました。【全体】 ・カラーユニバーサルの観点を取り入れ、目に優しく判別のしやすい色使いをすることで、見やすく使いやすい紙面づくりに配慮しました。また、写真やグラフなどでは、色の名前を入れたり形を変えるなど、明確に区別できるように配慮しました。【全体】
人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーや人権に対し、差別を助長することがないように、男女のイメージが固定化しないようなイラスト・写真を使用したり、人種を問わないイラストを使用するなど配慮しました。【全体】
印刷・用紙・製本	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版を採用することで、開きやすく、作業や書き込みなどがしやすい製本としました。【全体】 ・用紙やインクは環境に配慮したものを採用しました。【全体】

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
上巻			
①かけ算	A(3) ア(イ) (ウ) イ(ア)・内容の取扱い(3)(4)	p.12-25	7
②時こくと時間	C(2) ア(ア) (イ) イ(ア)	p.26-35	6
③わり算	A(4) ア(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) イ(ア)	p.36-53	10
○倍の計算	A(4) ア(ア)	p.54-55	1
④たし算とひき算	A(2) ア(ア) (イ) イ(ア)・内容の取扱い(2)	p.56-73	13
○ふりかえろう つなげよう	A(2) ア(ア)	p.74-75	1
⑤表とグラフ	D(1) ア(ア) (イ) イ(ア)・内容の取扱い(8)	p.76-87	7
⑥長さ	C(1) ア(ア) (イ)	p.88-99	7
○算数をつかって	D(1) ア(ア)	p.100-101	1
⑦円と球	B(1) ア(ウ) イ(ア)・内容の取扱い(6)	p.102-117	7
⑧あまりのあるわり算	A(4) ア(ア) (イ) (ウ) (エ) イ(ア) (イ)	p.118-127	5
下巻			
⑨(2けた)×(1けた)の計算	A(3) ア(ア) イ(ア)	p.2-5	1
⑩1けたをかけるかけ算	A(3) ア(ア) (イ) イ(ア)・内容の取扱い(2)	p.6-19	9
⑪大きい数	A(1) ア(ア) (イ) (ウ) イ(ア)・内容の取扱い(1)	p.20-37	10
⑫小数	A(5) ア(ア) (イ) イ(ア)	p.38-51	10
⑬三角形と角	B(1) ア(ア) (イ) イ(ア)・内容の取扱い(6)	p.52-69	12
○算数をつかって	A(1) イ(ア)	p.70-71	1
⑭2けたをかけるかけ算	A(3) ア(ア) (イ) イ(ア)・内容の取扱い(2)	p.72-85	9
⑮分数	A(5) ア(ア)・A(6) ア(ア) (イ) (ウ) イ(ア)・内容の取扱い(5)	p.86-101	10
⑯重さ	C(1) ア(ア) (イ) イ(ア)・内容の取扱い(7)	p.102-117	11
○ふりかえろう つなげよう	C(1) イ(ア)・内容の取扱い(7)	p.118-119	1
⑰□を使った式	A(7) ア(ア) イ(ア)	p.120-127	5
⑱しりょうの活用	D(1) ア(ア) (イ) イ(ア)・内容の取扱い(8)	p.130-133	2
⑲そろばん	A(8) ア(ア) (イ) イ(ア)	p.134-137	2
⑳3年のまとめ	A・B・C・D	p.138-143	3
○プログラミングのプ		p.144-145	1
○算数をつかって	D(1) イ(ア)	p.146-148	1

計 153 (予備時数 22)

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 132	小学校	算数	算数	3
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 316・317	みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上・下		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取り扱いに示す事項	ページ数
上126	わり算の筆算	1	A(4)ア(エ) 除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。	0.5
合計				0.5

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容